

「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、生活者、従業員、取引先、地域社会、株主といった多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、企業使命を果たし、持続的な企業価値向上を実現（持続的な成長や生産性向上に取り組む、付加価値の最大化を図る）していく上で人材を重要な資本の一つと位置付けています。人材開発方針として「人権や人格、個性や多様性を尊重する」「従業員一人ひとりの成長を促す」「健康で安全な働きやすい環境を確保する」ことを掲げており、持続的な価値創造のため、人材への積極的な投資、自社の状況を踏まえた賃金の引上げや総合的な処遇改善等、従業員への持続的な還元に努めてまいります。

具体的には、賃金の引上げについて自社の事業の状況、労働組合との協議を踏まえ、適切な賃金引上げ、賞与等での還元を持続的に取り組むとともに、すべての従業員が能力を十分に発揮できるよう人材育成・教育研修への投資、働く場の環境整備に取り組んでまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日
【2023年4月21日】
- ・ パートナーシップ構築宣言のURL
【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/28498-05-24-tokyo.pdf>】

3. その他のステークホルダーに関する取組

当社は、従業員や取引先のみならず、以下のような取組により、それぞれのステークホルダーから期待されている責務を果たして参ります。

- ・ 生活者に対して、「健康」をテーマとしたあらゆる分野で、生活者の健康でより豊かな暮らしの実現を図ります
- ・ 地域社会に対して、企業市民として積極的に参画し、環境保全にも努め、共存共栄を図ります
- ・ 株主に対して、的確な情報を公正、適時に開示します

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

2023年4月28日

大正製薬株式会社
法人名

代表取締役社長 上原 茂
役職・氏名（代表権を有する者）